

令和7年度

まちづくり

ハンドブック

沼田町の主な事業・町民向け事業のご紹介

令和7年度 沼田町政策予算全体概要

沼田町第6次総合計画

目指すまちの **子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町**

将来像

～夢とやさしさにあふれる 小さなまちの大きな挑戦～

重点戦略

全力宣言！その1

魅力！活気！元気！
持続可能プロジェクト
(農業・商工業関連)

全力宣言！その2

オンリーワン！
世界に発信プロジェクト
(資源・観光PR関連)

全力宣言！その3

沼田にここで育って
良かった！
こども応援プロジェクト
(キャリア教育・子育て関連)

令和7年度は、新たな魅力創出へ「挑戦・チャレンジ」する年として、次世代に繋げる一歩を踏み出すための取組を行い、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

地域間での「競争」と「共創」を意識し、職員とともに培った「知識や経験」を「新たな知恵」に変え、「新たな視点」と「新たな創造」をもって「次代に何を残すか？」、今すべきこと、今だからできることを深慮し、「オールぬまた」でスピード感を持ったなかで、沼田町の明るい未来を目指す8つの重点項目を実現するための戦略づくりと基礎固めを進めていきます。

また、沼田町第6次総合計画に掲げる重点戦略の堅実な遂行と併せて第3期沼田町総合戦略の推進のため、デジタルを活用して「効率性」「持続性」「経済性」を高め、町民皆様がこの地で快適に暮らせる社会を目指す「にぎわいのあるコンパクトエコタウン」創りを進めていきます。



※工事費などに関連する取り組みについては、一部事業費の掲載をおこなっておりません。

01. 農業

新規

■ NUMATA TOMATO TOWN 構想推進事業

予算:4,665千円

加工用トマト生産量日本一のまちを実現するため、栽培面積拡大、加工製品製造機能増強、販売量増加、加工用トマト製品消費拡大を図り、また、加工用トマトのPRに町全体で取り組み、基幹産業である農業を中心に産業と連携する新たな事業を推進する。

＜事業内容＞

・加工用トマト栽培・機械収穫試験事業

加工用トマトの生産拡大において課題となっている収穫作業期の労力軽減を図るため、機械収穫の導入へ向け町内農業者の協力により栽培・収穫試験、収量調査を行います。

・加工用トマト育苗支援事業

加工用トマトの生産拡大に向け、育苗委託経費の一部助成を行い春先の労力軽減を図ります。

・トマト村開設事業

未利用地を活用した加工用トマト栽培により、地域住民と移住者との交流による地域コミュニティの活性化・加工用トマト生産量の増加などを目指すトマト村の実現に向けバック栽培試験を行います。

・加工用トマト作付奨励事業補助金

水稻の輪作作物として位置付けられている加工用トマトの生産により、農業所得の確保及びトマトジュース等特産品の安定的な製造を図るため栽培面積の維持・拡大を目指します。

・加工用トマト拡大推進事業補助金

PRイベントや試食会、収穫体験事業を実施し加工用トマトの認知度向上を図ります。

・鳥獣被害防止対策及び加工用トマト生産拡大事業

有害鳥獣問題に関心を持つ北海道内の大学生によるサークルと連携し、本町の鳥獣対策の実地研修を実施し、農業被害の実情と駆除の重要性への理解を深めて頂く。また、加工用トマト生産拡大に向け実習農場で収穫体験を実施し、今後の労働力不足解消に向けての検討を行うとともに、関係人口の創出・拡大に努めます。

担当課

農業推進課 35-2114

新規

■ 農産加工場機能増強事業

予算:16,124千円

加工用トマト生産量日本一のまちを目指し栽培の拡大に取り組むにあたり、農産加工場の処理・製造の能力向上を図る必要があることから、原料受入れから製品出荷までの一連工程について企画・設計を実施し、農業所得の向上・トマトジュース等の本町特産品の競争力強化を図ります。

＜沼田町農産加工場基本設計業務＞

・農産加工場処理能力増強（ライン整備等）

担当課

農業推進課 35-2114

■ 農産加工場機器更新

予算:863千円

加工場施設は、建設から10年が経過していますが、機器導入や設備更新をすることにより衛生面の強化や更なる効率化を図り、売り上げの向上に努めます。

事業区分	事業費	事業概要
小型温度データロガー機器更新	863 千円	温度管理機器の老朽化による更新

担当課

農業推進課 35-2114

■中山間携帯電波不感地域通信対策事業

予算:66,547千円

町内の中山間地域の携帯電波不感地域2地区(真布・更新3地区)において、スマート農業の推進、また地域住民の防災面や安心・安全のまちづくりの観点から通信対策(インターネット環境の構築)を実施します。(真布地区は2カ年事業)

担当課 農業推進課 35-2114

■中山間地域等直接支払交付金事業

予算:115,777千円

・第6期対策(R7~R11)の1年度目となります。

	面 積		事 業 費	地 元 負 担 額	
田	急傾斜	680,349 m ²	14,287 千円	1/4	3,572 千円
	緩傾斜	12,642,900 m ²	101,144 千円	1/4	25,286 千円
畑	緩傾斜	77,227 m ²	270 千円	1/4	68 千円
	計	13,400,476 m ²	115,701 千円	1/4	28,926 千円
	事 務 費		76 千円		15 千円
	合 計		115,777 千円		28,941 千円

担当課 農業推進課 35-2114

■多面的機能支払交付金事業

予算:125,518千円

法制化により、平成27年度から国(2/4)・北海道(1/4)の補助金を町予算に計上し、町負担(1/4)とともに活動組織へ交付する方式となっています。

	面 積	事 業 費	町 負 担 額	
田	5,691.54 ha	113,477 千円	1/4	28,370 千円
畑	1,760.84 ha	11,752 千円	1/4	2,938 千円
計	7,452.38 ha	125,229 千円	1/4	31,308 千円
	事 務 費	289 千円		18 千円
	合 計	125,518 千円		31,326 千円

担当課 農業推進課 35-2114

02.中山間事業

※事業の実施決定は、令和7年4月となるため、今後変更になる場合もあります。

■稲作経営超低コスト化体質強化事業

生産資材費の高騰による農業生産コストの増大により、農業経営に影響が出ていることから、生産コストの低減が稲作農業の体質強化に不可欠であることから、コメの大幅な生産コスト削減を目指し、コスト削減に向けた取組の検討を進めます。

担当課 農業推進課 35-2114

■初冬直播き栽培検証事業

(稲作経営超低コスト化体質強化事業の予算内で実施)

初冬の田に稲の種子を直播きし、そのまま土中で越冬させ、翌春に発芽・苗立ちさせる新しい作型の栽培検証を行い、超繁忙期である春作業の負担軽減、省力・低コストで規模拡大への対応を図るための検証を行います。

担当課 農業推進課 35-2114

■水稲低コスト省力栽培技術導入支援事業

農業者数の減少に伴い、1戸当たりの経営面積が拡大している中、労働負担の軽減を図っていく必要があることから、春作業の省力化、生産コストの削減に向け、省力栽培技術の導入を支援します。

＜事業概要＞

・省力栽培技術を導入する農業者に支援を行います。

＜支援内容＞

- ・直播(乾田・湛水)栽培 (10a/4,000円)
- ・高密度播種苗栽培、疎植栽培(10a/2,000円)

※1年目は取り組んだ面積で交付し、2年目以降は増加面積に対して交付します。ただし、交付面積は両取組併せて20haまでとします。

担当課

農業推進課 35-2114

■低コスト生産に向けた土壌診断推進事業

肥料や燃油等の生産資材費が高騰し、農業を取り巻く情勢が厳しさを増す中、土壌診断に係る支援を行い、適正施肥を推進し、施肥コストの低減、作物の収量安定を図り、低コスト化生産を推進します。

＜事業概要＞

- ・対策期間 令和6年度から令和8年度までの3年間
- ・土壌分析費用(水田/1点あたり)の全額を助成します。(町50%+JA50%)
- ・土壌分析は1ha当たり1サンプルとし、町内全農業者の圃場を3年間かけて実施します。

担当課

農業推進課 35-2114

■土づくり推進事業(高品質・収量安定生産の推進)

事業区分	補助率	限度額
土壌診断費支援	—	生産者負担100円/1サンプルとし差額助成
土壌検査費支援	1/2	限度額5,000円

担当課

農業推進課 35-2114

■6次産業化応援事業

事業区分	補助率	限度額
6次産業化に係る研修会受講経費助成	—	100千円/1個人・1グループ
新商品開発に向けた専門機関への相談等に要する経費助成	2/3	1,000千円
販路拡大に係る経費助成(商談会への出展費用等)		
食品表示法改正による既存商品のラベル張替		500千円

担当課

農業推進課 35-2114

■配偶者対策事業

事業区分	事業概要
グループ婚活事業支援	関係者による婚活事業開催に関する支援
アグリパートナー対策推進事業	都市部女性との交流会開催・結婚相談所の会員料助成
結婚祝い金支給事業	農業者が結婚した場合に祝い金を支給

担当課

農業推進課 35-2114

■農業担い手育成支援事業

事業区分		補助率	限度額		事業概要
研修費用助成	国内	－	一般	100千円	対象外経費：食料費
			後継者・新規就農者	200千円	
	国外	9割		500千円	
ごはんソムリエ等 資格取得助成		9割	受講・受験料・ 認定登録料	300千円	対象外経費：資格更新経費・食料費

担当課 農業推進課 35-2114

■地域交流・消費拡大対策事業

事業区分	事業概要
都市との交流事業	都市住民との交流による農業体験
農業体験事業	米づくりに関する一連の農業体験（田植・稲刈等）の提供
農産物PR販売事業	雪中米・地場農産物のPR販売

担当課 農業推進課 35-2114

■その他対策事業

事業区分	事業概要
有害鳥獣対策	鹿処理経費（止め矢）・アライグマ箱罠経費・銃器取得助成、鳥獣頭数等生態調査
I C T 関連事業	継続：スマート農業高度化実践事業 ※収量及び品質の安定化 栽培管理支援システム検証事業、衛星情報を活用した可変施肥、水田 センサー品質向上効果検証事業 継続：新たな農業の未来をつくるスマート農業推進事業補助金（スマート農業技 術機械・設備等の導入支援） 継続：ホクレンRTKシステム利用料助成 スマート農業研究会による検討推進

担当課 農業推進課 35-2114

■新規就農サポート事業

沼田農業の持続的、安定的な発展を図るため、新たに就農する方が必要とする資格の取得に要する経費の一部を助成します。

＜事業概要＞

・対象者 18歳以上45歳以下で、かつ、本町農業に新規に参入しようとする方又は本町農業者の経営を受け継ぐ当該農業者の子弟とする。（雇用就農含む）

・助成内容 農業経営に必要な資格取得に要する経費を助成（補助率1/2、上限100千円）

・対象とする資格

（沼田自動車学校で取得するものに限る資格）

①大型特殊免許

②中型免許

③大型免許

（取得場所を問わない資格）

④フォークリフト運転技能講習

⑤玉掛け技能講習

⑥小型移動式クレーン運転技能講習

⑦けん引免許

※補助は①～⑦合わせ上限額までとする。（1回限り）

担当課 農業推進課 35-2114

■女性農業者活躍サポート事業

沼田農業の持続的、安定的な発展を図るため、女性農業者が営農に必要な資格の取得に要する経費の一部を助成します。（助成内容は新規就農サポート事業と同様）

担当課 農業推進課 35-2114

03.商工業

■ 新規 沼田町食の魅力発信拠点運営事業

予算:27,508千円

北海道で最も集客力のあるスポットの一つである「エスコンフィールド北海道」へ訪れる方が多くが利用する北広島駅前の施設「トナリエ北広島」内で沼田町の産品や飲食を取り扱うアンテナショップを通年開設し、沼田町を全道・全国・世界へ発信し町のPRを行うとともに、税収及び事業収入の増を図ります。

担当課 産業創出課 35-2155

■ 沼田町特産品普及促進事業(クラフトビール)

予算:2,100千円

人と人をつなぎ、地域を結び、大きくグローバルに広がっていくというクラフトビールの性質を生かし、普及・促進を行います。

また、町内製造・町内外流通を促すことで、産業創出や商工振興を図るとともに関係人口の拡大に寄与します。

《事業概要》

- ・販促活動費

担当課 産業創出課 35-2155

■ 着地型観光旅行商品開発事業(3カ年事業3カ年目)

予算:1,100千円

沼田町の地域資源を活用した「着地型旅行商品」を開発するための業務委託を行います。

《事業概要》

- ・町内フィールドワーク及び町内関係機関と社会実装に向けた具体的な調整を実施
- ・モニタリング調査
- ・受け皿となる地域商社の基盤整備

担当課 産業創出課 35-2155

■ 事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業

予算:5,000千円

魅力ある住みやすいまちづくりを促進するため、店舗の新築や空き店舗等を活用した新たな商業活動、起業や商品開発等への取組、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりの取組、事業を継続するための取組へ費用の一部を助成し、まちの活性化を図ります。

《事業概要》

事業名	支援内容
事業継続・承継支援事業	事業を継承する際に必要となる改修や奨励金の交付
産業活性化・創出支援事業	新商品の開発や新規事業、法人設立への取り組み支援
新製品PR支援事業	新製品の商品ラベル作成や販路開拓にかかる支援
店舗取得等支援事業	店舗新築や中古店舗購入、賃貸物件での店舗開設への支援
計画策定に伴う経営改善支援事業	計画を策定した上で生産性向上を図るのに必要となる改修や設備投資への取り組み支援
わがまち沼田を担う人材育成事業	まちづくりに繋がる研修の受講や業務上必要な資格取得への支援
沼田力活性化支援事業	イベントの開催やチャレンジショップへの取り組み、人材確保のための出展等への支援

※補助率や補助上限額など各事業によって異なりますので、詳しい支援内容については担当課までお問い合わせください。

担当課 産業創出課 35-2155

■沼田町商工業活性化チャレンジ支援事業 予算:5,000千円

沼田町内に所在する中小企業の振興、発展及び商店街の活性化を図るための事業に対して支援を行い、経営の安定維持及び商店街の活性化の促進を図ります。

《事業概要》

- ・多目的(とむとむ)広場整備事業
- ・歳末大売出し事業
- ・商店街活性化事業(賑わい夕市発展型)
- ・ポイントカード事業
- ・広域観光誘客事業
- ・商店街の活性化計画実現事業

担当課 産業創出課 35-2155

■中小企業特別融資貸付金 予算:100,000千円

令和元年度からの預託金増額に加え、物価高騰等の影響による借入に対応するため、融資資金枠を4億に拡大しています。これにより、町内商工業者の皆さんの設備資金・運転資金を確保します。

担当課 産業創出課 35-2155

■中小企業特別融資利子等補給事業 予算:10,000千円

利子補給	1.5%	6,000 千円
保証料補助	1.0%	4,000 千円

担当課 産業創出課 35-2155

■ぬまた町元気応援商品券配布事業 予算:14,450千円

昨今の食料品等生活必需品の相次ぐ物価高騰に伴う負担軽減支援として、第11弾となる町内商店等で利用できる商品券を配布します。

担当課 産業創出課 35-2155

04.企業誘致

新規 ■コンテナ型データセンター誘致に向けた各種検討・協議

雪エネルギーを活用したコンテナ型データセンターの進出を検討している企業との協議を重ね、沼田町への進出を後押しするための支援策等について各種検討・協議を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

新規 ■企業・学校・沼田町の3者連携事業

今後3者で専門的人材の育成や地域産業の振興等を目的とした連携協定を締結する予定となっており、各種連携事業が円滑に取り組めるように調整を行うとともに、今後のビジョンについて共有化を図り、3者にとって有益な事業を推進します。

担当課 産業創出課 35-2155

■サテライトオフィス等誘致推進事業 予算:2,989千円

令和4年度に策定した新たな企業誘致戦略に基づき、沼田町の強みを活かした形での企業誘致を実施するため、オンラインを活用した分析調査を始めとする各種事業に取り組みます。

《事業概要》

- ・フォームマーケティング
- ・オンライン相談会
- ・沼田町視察ツアー

担当課 産業創出課 35-2155

■サテライトオフィス設置促進事業

予算:1,524千円

自然豊かな環境でリフレッシュしながら仕事を行う等の目的で、本社から離れた場所にオフィスを構えるサテライト(衛星)オフィスが注目されていることから、町内にサテライトオフィスを設置しようとする際の経費の一部を助成し、関係人口の拡大や企業誘致、町の経済振興発展を目指します。

《事業概要》

○サテライトオフィス設置促進補助金

補助対象経費	補助率	上限額	助成期間
オフィス賃借料	1/2	50,000円/月	24か月以内
備品、事務機器のリース料		30,000円/月	24か月以内
レンタカー借り上げ料		50,000円/台・月	期限制限なし
住宅賃借料		30,000円/戸・月	24か月以内・1社3戸まで

担当課 産業創出課 35-2155

■企業誘致等推進事業

予算:5,027千円

令和4年度に策定した新たな企業誘致戦略に沿った誘致活動を推進することで、食料貯蔵流通基地構想実現のための農業分野での産業クラスター化や沼田版シリコンバレー構想の実現を目指していくためにアンケート等による企業誘致活動を展開し、雇用創出に向けた取組を行っています。

担当課 産業創出課 35-2155

05.観光

新規

■幌新地区魅力発信事業交付金

予算:300千円

そらち自然学校・ほたる館・化石体験館・キャンプ場が連携し、幌新地区を盛り上げるための事業やイベントを定期的に開催するために必要な経費の交付を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

新規

■教育旅行受入協議会補助金

予算:300千円

北海道内を中心に小学校、中学校、高校、スポーツチーム等における課外学習及び宿泊を伴う研修プラン調整のサポートを行い、沼田町における教育旅行受入の質の向上を目指します。

《事業概要》

- ・課外学習及び宿泊研修における各教育機関、受入先との調整
- ・教育旅行にて実施するプログラムの調整
- ・Webサイト・SNSの活用

担当課 産業創出課 35-2155

■夜高あんどん祭りVR映像撮影事業

予算:482千円

夜高あんどん祭りの当日だけではなく、年間を通じてVR映像によりお祭りを疑似体験できる環境を作るため、多角的にVR映像の撮影を行います。

担当課 産業創出課 35-2155

■夜高あんどん継承事業

予算:15,842千円

WEB広告やSNS等を使った動画コンクールを実施し、また、当日にYouTubeによるLIVE中継を行い、全世界にお祭りの様子を発信し既存ファン層へのPR継続と新規ファン(若者等)を掘り起こします。

担当課 産業創出課 35-2155

■活！ぬまたステップアップ事業

予算:4,036千円

特産品・観光のPRなどを一元的に実施し、町内の魅力ある資源(ひと・もの)を結び付け「活力と活気あるまちづくり」を進めます。

担当課

産業創出課 35-2155

■沼田町ほたるの里 夏のSNOWマラニック2025事業

予算:2,500千円

豊かな自然やほたる、真夏の雪といった他には無い魅力的な資源を堪能してもらうとともに、各エイドにおいて特産品等の提供を行うなど、沼田町をまるごと味わってもらうことで交流・関係人口の拡大を図ることを目的に、ピクニック感覚で走ることでできるマラニックを開催します。

担当課

産業創出課 35-2155

■沼田町にぎわい交流創出事業

予算:1,500千円

農業や商工業等の分野を結んだイベントを開催することで、町外からの誘客等、様々な人の交流でにぎわう町内の創出を図ります。

担当課

産業創出課 35-2155

■沼田町駅未来協議会補助事業

予算:1,800千円

JR留萌本線の廃線による「廃線需要」をより効果的に捉えた取り組みを推進し商工業発展に寄与するとともに廃線後の駅を含めた駅周辺の活性化に向けた方策を検討します。

《事業概要》

- ・駅イベント・記念グッズ作成
- ・ビジネスモデル研修
- ・駅前横丁推進事業(チャレンジ屋台村&商品開発)
- ・JR石狩沼田駅115周年イベント

担当課

産業創出課 35-2155

■関係人口創出アドバイザー事業

予算:396千円

都市等との繋がりを築き、新しい人の流れ、地域資源・産業・特産品等を生かした稼ぐ地域、多様な人材の活躍の場、企業・大学等との連携を創出するためのアドバイザー業務を委託し、魅力あるまちづくりを効果的に進めます。

担当課

産業創出課 35-2155

■幌新地区魅力創造マイスター事業

予算:396千円

ほろしん温泉やそらち自然学校及び化石体験館が有機的な連携を図ることで、幌新地区の地域資源等を最大限に有効活用し企業等との連携や都市部、インバウンド等をターゲットにした新たな誘客の取組を加速させることを目的にマイスター業務を委託します。

担当課

産業創出課 35-2155



06.子育て

■保育士人材確保事業

予算:1,200千円

保育士の不足は都市部だけでなく地方においても深刻な問題となっていることから、町内の保育施設に新たに就職される方に助成を行うことで町内就業を促し、安心して子育ていただける保育環境の向上を図ります。

《事業概要》

○就業支度金 50千円(就業時1回限り)

○在宅準備支援金 100千円(転入者1回限り)

○就業支援

資格あり300千円(1年間就業ごとに5年間助成・就職の翌年度から5年間交付)

担当課

保健福祉課 35-2120

■認定こども園保育料等無償化事業

無償化による町負担額 予算:10,064千円

令和元年10月から国による幼児教育・保育の無償化が実施されていますが、対象は1号認定(教育認定)ら5年間交付)・2号認定(3歳以上保育認定)の保育料であり、3号認定(3歳未満保育認定)及び給食費(主食・副食費)については、保護者負担となっておりますが、本町では安心して子育てしていただけるよう「完全無償化」を継続実施します。

担当課

保健福祉課 35-2120

■沼田町出産祝金事業

予算:1,300千円

沼田町で出生した子どもを養育する父又は母に出産祝を支給し、町の次代を担う子どもの成長を支援するとともに、家族の経済的負担の軽減を図ります。

《事業概要》

・助成額 出生児1人当たり10万円を支給

担当課

保健福祉課 35-2120

■母子の健康づくり事業

予算:5,799千円

事業名	予算額	内容
不妊治療費助成	1,219 千円	健康保険適用不妊治療・先進不妊治療
不育症治療費助成	100 千円	
妊婦一般健康診査等助成	1,809 千円	一般健康診査、超音波・精密検査・産後健診
新生児聴覚検査	130 千円	
宿泊型産後ケア	354 千円	
生後1か月健診	52 千円	
通所型産後ケア事業	195 千円	
訪問型産後ケア	91 千円	
助産師派遣	24 千円	
乳幼児健診	518 千円	
乳幼児歯科健診・フッ素塗布	84 千円	
産前産後安心事業	1,223 千円	妊産婦健診・通所型産後ケア等交通費 初回産科受診料、妊産婦歯科健診費等助成

担当課

保健福祉課 35-2120

■伴走型子育て支援オンライン事業

予算:608千円

妊産婦やお子さんが体調を崩した時やお子さんへの対応の仕方等、医師や助産師等の専門職に24時間365日オンラインで相談できる体制を継続します。さらに、町から妊娠期や出産、子育てに関する情報をプッシュ型で配信しきめ細かく情報発信します。

担当課

保健福祉課 35-2120

■母子手帳アプリ運用経費

予算:198千円

「母子健康手帳機能」と「子育て支援機能」を組み合わせる沼田町版母子手帳アプリを活用し、母子保健・子育て支援をDX化、子育て世代の利便性の向上を図ります。

《事業概要》

- 母子健康手帳機能
 - ・成長発達記録・予防接種履歴等の管理
- 子育て支援機能
 - ・予防接種AIスケジューラー
 - ・予約に関する窓口業務のデジタル化
 - ・各種イベントの告知等地域の子育て情報発信

担当課

保健福祉課 35-2120

■子育て世帯冬季暖房経費助成事業

予算:1,850千円

本町は北空知管内でも有数の積雪寒冷地であることから、高校生以下の子どもを養育する世帯に対し冬季暖房費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

《事業概要》

- (1) 助成額 1世帯につき1万円 ※町内でのみ利用可能な「商品券」にて支給

担当課

保健福祉課 35-2120

■子育て医療費の無償化事業

予算:7,500千円

乳幼児から高校生までの医療費(個人負担分)を無償化し、子育て世帯の負担を軽減することにより子育て環境の更なる充実を図り福祉の向上に努めます。

- ・乳幼児・児童医療費無償化事業 3,800千円
- ・中学生医療費無償化事業 1,700千円
- ・高校生医療費無償化事業 2,000千円

担当課

保健福祉課 35-2120

■がんばる高校生応援手当

予算:7,320千円

「未来のぬまた」を担う人材育成のため、保護者の経済的負担を軽減し子育て環境の向上を図ります。

《事業概要》

- 対象高校生 10千円/月・人

担当課

住民生活課 35-2115

07.教育



新規 ■不登校児童生徒学習サポート事業

予算:512千円

不登校児童生徒に対し多様な学びの場を確保し、学習面での再登校を補助するため、学校外でのICTを活用した学習プログラムを導入した学習サポートを実施します。

担当課

教育委員会 35-2132

新規 ■沼田学園「特色ある学び」の推進と国際社会の人材育成事業

予算:7,076千円

沼田学園の「特色ある学び」のひとつである英会話教育を強化するため、外国語指導の専門職員を採用し、小中学校での英会話教育を実施するほか、社会教育や国際交流の分野と連携した英語教育を推進します。

また、児童生徒の読書習慣の定着、読解力・語彙力向上の取組を強化するため、小中学校に図書館システムを導入します。

担当課

教育委員会 35-2132



新規 ■ 台湾瑞穂郷国際交流事業 予算:2,000千円

令和6年6月に台湾瑞穂郷と締結した友好交流協定に基づき、双方が共に日台青少年交流を促進して次世代の相互理解を深め、お互いのお祭りや文化などの伝統芸能を見習い、交流を進めることで地域の国際化を推進し、友好関係を強化しながら日本と台湾の繁栄と発展にも寄与することを目的として、交流事業を実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

新規 ■ 探求学習サポート事業 予算:75千円

児童生徒の調べ活動を充実化し、リテラシー等の能力育成を図るため、新聞WEBコンテンツ(記事データベース)を導入します。

担当課 教育委員会 35-2132

新規 ■ 沼田学園児童生徒用タブレット端末共同調達事業 予算:16,600千円

国が進めるGIGAスクール構想を受け、令和2年度から児童生徒用の学習用タブレット端末を導入し、ICTによる学びを進めています。タブレット端末導入より5年が経過し、端末更新の時期が迫っていることから沼田学園の児童生徒のタブレットを更新し、よりよい環境での学びの機会の確保を進めていきます。

担当課 教育委員会 35-2132

新規 ■ 沼田学園教職員用PC端末更新事業 予算:9,588千円

国が進めるGIGAスクール構想を受け、ゼロトラスト環境の構築(セキュリティ対策の向上)が必要となることから、教職員用PC端末を多要素認証機能等を保有するものへと更新します。

担当課 教育委員会 35-2132

新規 ■ 「セカンドブック」「サードブック」事業 予算:140千円

本に触れあう機会を定期的に提供し親しみをもってもらい、読書習慣へつながるきっかけを作ります。

《事業概要》

・6～7カ月に行っているハローブックに加え、3歳児に1人10冊、小学1年生に1人1冊の本の提供をします。

担当課 教育委員会 35-2132

新規 ■ 「ソクラテスミーティング in 沼田」 予算:395千円

キャリア教育支援として沼田町の子どもたちに地元企業を知ってもらい、沼田町をもっと好きになってもらい、将来の進路を考える上で参考にしてもらうため、中学生が町外に進学する前に、地元企業とそこで働いている大人の想いを知ってもらう少人数・対話型の講話会を実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

■ 小矢部市青少年交流事業(訪問) 予算:110千円

☐ 日程(予定) 7月下旬 3泊4日
☐ 訪問団(予定) 生徒 8名・引率 3名

担当課 教育委員会 35-2132



■ポートハーディ国際交流事業(訪問) 予算:11,009千円

□日程(予定) 7月18日～7月26日(7泊9日・うちホームステイ4泊5日)
□訪問団(予定) 高校生・中学生 11名・一般町民 1名・引率及び通訳 4名

担当課 教育委員会 35-2132

■沼田っ子の夢応援事業 予算:240千円

従来の合宿通学に、沼田学園で実践する「沼田学」にリンクさせた「ふるさと学習」や「家庭学習の習慣化」の要素を加えて実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

■自然体験授業事業 予算:300千円

ほろしんの森を中心とした沼田町の自然に触れ、まちの自然の豊かさを知り、郷土愛を育むとともに、子どもたちが自然体験を通じて、非認知能力など生きる力を育むため、「そらち自然学校」のプログラムを沼田学園沼田小学校の授業において実施します。
プログラムは「そらち自然学校」に委託し、より効果的かつ専門的な事業を実施します。

担当課 教育委員会 35-2132

■沼田学園推進事業 予算:34,205千円

開園7年目を迎えた「沼田学園」は、沼田っ子が夢や希望の実現に挑戦し、心豊かにともに支え合いふるさと沼田に誇りを持ち、たくましく成長してほしいとの願いのもと教育活動を進めてきました。その結果、学力が向上するなど着実に多くの成果を上げてきたところです。

これまでの成果を生かしながら、子どもたちの心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めます。

担当課 教育委員会 35-2132

■学校給食費無償化事業 予算:9,514千円

子どもの心身の健やかな成長を社会全体で支援する取り組みの一環として、所得によらず小中学校の給食費を無償化し、子育て家庭の負担軽減を図ります。

担当課 教育委員会 35-2132

■化石体験館・レプリカ工房管理運営費 予算:18,052千円

■町民会館管理運営費 予算:7,392千円

■宿泊交流センター管理運営費 予算:1,439千円

■文化財収蔵センター管理費 予算:3,767千円

■町民体育館管理運営費 予算:15,976千円

■町営スキー場管理運営費 予算:21,331千円

■海洋センター管理運営費 予算:9,310千円

■町民パークゴルフ場管理・運営費 予算:2,567千円

■その他主な施策

・文化財保存事業(本願寺駅通・クラウス) ・自然体験事業 ・町民芸術祭
・町民スポーツまつり ・明日萌ほたるの里ウォーキング

担当課 教育委員会 35-2132



08.健康

新規 ■暮らしの安心センター指定管理

予算:28,791千円

直営で管理運営していた業務を社会福祉協議会に指定管理し、事業の継続と多様化する住民ニーズの対応を強化します。

担当課

保健福祉課 35-2120

■沼田厚生クリニック医療機器整備事業

予算:14,925千円

第10次中長期計画に基づいて、沼田厚生クリニックの医療機器更新と紙でのデータ管理を一部電子化します。

《事業概要》

- 電子カルテシステム 8,115,800円
- 自動分析装置 6,050,000円
- 検査データシステム 759,000円

担当課

保健福祉課 35-2120

■沼田町デイサービスセンター指定管理

予算:5,000千円

在宅の要介護高齢者の通所による各種サービスの提供を継続していくため、沼田町社会福祉協議会に指定管理委託をし、事業運営を行います。

担当課

保健福祉課 35-2120

■モービルMRI 脳の検診事業

予算:625千円

大型トレーラーに搭載した脳MRI(磁気共鳴断層撮影装置)の性能が向上し、より精密な検査を受けられるようになりました。脳疾患の早期発見、生活習慣病改善のきっかけづくりを図るため、費用を一部助成し実施します。

《事業概要》

- ・対象 20～74歳の方
※前年度の特定健診の結果、メタボリック症候群(予備軍含む)と指摘された方または精密検査が必要と言われた方を優先します。
- ・費用 一人5,000円のうち3,000円を助成(70～74歳の方、生活保護・非課税世帯は無料)
- ・検査枠 135人

担当課

保健福祉課 35-2120

■任意带状疱疹予防接種事業

予算:2,944千円

壮年期以降の带状疱疹の発症を予防し、健康寿命の延伸を図るため、带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を町独自に助成します。

《事業概要》

- ・対象ワクチン 乾燥組換え带状疱疹ワクチン「シングリックス筋注用」
- ・効果 50歳以上で接種後3年間、97.2%の発症予防効果
接種後8～9年以上効果が持続
- ・委託機関 町立沼田厚生クリニック
- ・接種回数 2回(2か月間隔)
- ・対象者 沼田町に住民登録されている50歳以上の方
- ・助成額 2回接種合計41,310円のところ、自己負担額20,000円
(生活保護世帯・住民税非課税世帯の方は自己負担なし)

なお、令和7年度からは65・70・75・80・85・95・100才以上の方は定期接種として引き続き助成いたします。

担当課

保健福祉課 35-2120

■ほろしん温泉町民優待券事業

予算:14,797千円

町内在住の方にほたる館で使える利用券を配布し、利用促進と公衆衛生の向上を図ります。

《事業概要》

- ・一人あたり5,000円分の利用券を配布します

担当課

住民生活課 35-2115

09.福祉

■ICT活用健康・見守り事業

予算:4,070千円

あるくらす団地・旭町高齢者住宅の配電盤に電力センサーを取り付け、1分ごとの電力データを基に、個人毎のライフスタイルカルテを作成し、本人及び遠方に住むご家族へお知らせすることで、一人暮らしの高齢者等が安心して住み続けられる見守りの充実を図ります。

担当課

産業創出課 35-2155

■介護人材バンク事業

予算:1,500千円

高齢化と就労世代の減少の中で、介護分野の人材確保及び介護職員の介護技術の向上を図るため、研修に係る受講料・資格試験料に対し助成する。

《事業概要》

- 対象者
 - ・町内に住所を有し、町内介護施設に将来にわたり就業予定の方
 - ・町内介護関連施設等で働いている方
- 助成内容
 - ・研修受講費・試験料(一人当たり10万円上限)
 - 介護職員初任者研修(受講料)、介護福祉実務者研修(受講料)、
 - 介護福祉士(試験料)、(主任)介護支援専門員研修(受講料)、
 - 社会福祉士(試験料)
- 要件
 - ・令和8年3月31日までに資格取得すること
 - ・受講修了・資格取得後に沼田町介護人材バンクに登録いただける方 など

担当課

保健福祉課 35-2120

■介護従事者確保就業支援事業

予算:3,500千円

介護従事者の不足は全国的に深刻な問題となっていることから、町内に在住し、町内の介護施設に新たに就業される方に助成を行うことにより介護職員を確保し、安心して住み続けられるよう介護環境の向上を図ります。

《事業概要》

- ・就職支度金 50千円(就職時1回限り)
- ・住宅準備支援金 100千円(転入者1回限り)
- ・就業支援金
 - 資格あり300千円(1年間就業ごとに5年間助成・就職の翌年度から5年間交付)
 - 資格なし100千円(1年間就業ごとに5年間助成・就職の翌年度から5年間交付)

担当課

保健福祉課 35-2120

■社会福祉協議会運営補助

予算:8,420千円

社会福祉協議会の地域福祉の推進を図る役割の重要性を踏まえ、法人の組織運営に係る人件費等に対し補助をし経営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉課題・生活課題の解決と支援を必要とする方に対する福祉サービスの積極的な提供を確保する体制を維持します。

担当課

保健福祉課 35-2120

■高齢者就労支援事業補助

予算:3,820千円

高齢者自らの生きがいつくりや社会参加を希望する高齢者に対し、地域の日常生活に密着した臨時的・短期的な仕事を提供し高齢者が活躍する場及び地域での福祉サービス体制を確保するため事業補助を行います。

担当課

保健福祉課 35-2120

■訪問介護事業補助

予算:6,550千円

ホームヘルパーが身体介助及び生活援助を行う訪問介護事業は、要介護者が自宅で暮らすために必要不可欠なサービスですが、入退院や施設入所等によって利用者数が大きく変動し、厳しい運営状況にあります。要介護者が自宅で暮らし続けるため、さらには来る2025年問題に備えて恒常的に対応できるように、サービス提供体制を維持するための補助をいたします。

担当課

保健福祉課 35-2120

■外出支援サービス事業補助

予算:200千円

公共交通機関を利用することが困難な、在宅で生活されている高齢者等の医療機関への交通費を支援することにより、安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実を図ります。

《事業概要》

○対象者

- ・在宅で生活する概ね65歳以上で要介護1以上の方等(町民税非課税世帯・均等割世帯 ※生活保護受給世帯を除く)
- ・要介護3以上の認定を受けた方
- ・身体障がい者1・2級の内、下肢・体幹機能に障がいのある方で介助を必要とする方
- ・療育手帳の交付を受けている者で、障害の程度がA判定に該当する方

○事業内容

医療機関への通院のためのハイヤー又は福祉有償移送サービスの利用助成
利用料金の9割を助成(10千円/月程度)

担当課

保健福祉課 35-2120

■高齢者世帯等除雪費助成事業

予算:4,613千円

除雪作業を自力で行うことが困難な高齢者等に対し、業者へ除雪作業を委託している除雪委託費用の一部を助成することにより対象世帯の負担軽減を図り、冬期間の安心かつ安全な生活環境の確保と在宅福祉の向上を図ります。

《事業概要》

○対象者

町民税非課税世帯又は町民税均等割のみ課税世帯で

- ・「世帯主が70歳以上で同居親族65歳以上の世帯」又は「70歳以上の独居世帯」
- ・「世帯全員が65歳以上で、世帯員のうち障がい者手帳の所持、要介護認定を受けている者がいる世帯」
- ・「世帯全員が65歳以上で病弱で除雪が困難な世帯」

※生活保護受給世帯を除く

○除雪範囲

①玄関前 ②屋根・窓

○自己負担額(助成内容)

- ・①及び②それぞれ委託額の1/2を助成

担当課

保健福祉課 35-2120

■高齢者等温泉入浴促進事業

予算:2,287千円

高齢者・障がい者(児)に対しほろしん温泉入浴料及び宿泊料の一部について助成を行い、健康で心豊かな生活環境を創造し福祉の増進を図ります。

《対象者》

- ・満65歳以上の高齢者・障がい者など

《助成額》

- ・入浴 200円/1回
- ・宿泊 3,000円/1泊

担当課

保健福祉課 35-2120



■在宅介護サービス利用奨励手当支給事業

予算:2,220千円

要介護認定を受けた方が、在宅で介護サービスを受け安心して在宅生活を続けていただくため助成を行います。

＜事業概要＞

- 対象者 要介護度3から5までで、居宅サービスを毎月1種類以上利用された方
- 手当額 要介護度3 月額 10,000円 要介護度4、5 月額 15,000円

担当課

保健福祉課 35-2120

■高齢者等入院交通費助成事業

予算:400千円

入院できる医療機関が町外の医療機関に限定されていることから、入院された高齢者家族が付添う場合、高齢者などが住み慣れた地域で安心して在宅生活を送っていただけるよう交通費の一部助成を行います。

＜事業概要＞

○支給対象者

①世帯主及び同居の親族が65歳以上の世帯員で構成されている世帯

②世帯主が65歳以上の独居世帯

(付添人が町内に居住する2親等以内の親族かつ基準日に65歳以上の方である場合)

③世帯主が65歳以上の独居世帯(支給対象となる2親等以内の付添人がいない場合)

※③は入退院時交通費のみを入院者本人に助成

※課税世帯及びその世帯と同居する方は対象外です。

○助成の範囲

[入院期間中の助成] 入院期間中の付添人の交通費助成 入院日数÷2×500円

・助成額の上限 入院した同一世帯員1名に対し当該年度内入院日数90日限度

[入退院時交通費の助成]

・入退院時の交通費をそれぞれ5,000円助成

担当課

保健福祉課 35-2120

■「この町に住んで良かった」住環境整備費助成事業

予算:800千円

介護を必要とする高齢者や身体障がい者が暮らしやすい住宅に改造工事を行う場合に事業費の1/2以内(限度額80万円)を助成します。※介護保険法、その他の住宅改修に係る給付を受けた分は対象外となります。

担当課

保健福祉課 35-2120

■高齢者等活躍の場応援事業

予算:140千円

高齢者等が持つ知識や経験等を活かして活躍できる場を紹介し、自由に集まり交流ができる環境を整備することにより、生きがいをもち元気あふれる健康づくりを図ります。

担当課

保健福祉課 35-2120

■介護アドバイザー招へい事業

予算:2,310千円

介護分野において広い知識を持つアドバイザーを招へいし、現状の介護事情や自分や家族が介護が必要となった場合に備え、講演会の開催や町内福祉施設におけるサービスの充実・向上のため指導をいただくことで、安心して住み続けられるよう介護環境の向上を図ります。

＜事業概要＞

・町民対象の介護講演会 ・町内福祉施設への指導、助言

担当課

保健福祉課 35-2120



■軽度・中等度難聴者(児)補聴器購入費助成事業

予算:222千円

身体障がい者手帳の該当とはならない「軽度・中等度」難聴者の積極的な社会参加や地域交流を支援し、社会福祉の増進に寄与することを目的に補聴器購入費を助成します。

《事業概要》

- 対象者 両耳又は片耳の聴力レベルが30dB以上70dB未満の方
- 交付内容 (18歳以上)購入費の1/2以内(一人当たり3万円限度)
(18歳未満)補聴器購入及び修理に係る費用又は基準額のいずれか低い額の2/3以内

担当課

保健福祉課 35-2120

■人工透析患者通院費助成事業

予算:700千円

腎臓機能障害を持つ方に安心して生活を続けていただくため、町外の専門医療機関への通院に要する交通費の一部を助成します。

《事業概要》

- 対象者 身体障がい者手帳の交付を受け、定期的に人工透析治療を受けている方
- 交付内容 1,000円分チケット 70枚交付

担当課

保健福祉課 35-2120

■障がい者等団体バス借上経費助成事業

予算:90千円

町内の障がい者(児)による団体が、会議・研修・視察・交流などの事業において、リフト付きバスを利用しようとする場合のバス借上経費の一部を助成し、積極的な社会参加を促し福祉の増進を図ります。

《事業概要》

- 助成額など バス借上経費の1/2

①日帰りによる事業	上限額	35,000円
②1泊以上の事業	上限額	55,000円

担当課

保健福祉課 35-2120

■難病患者通院交通費助成事業及び在宅障がい者等施設通所費助成事業

予算:1,324千円

難病患者の方に安心して生活を続けていただくため、町外の専門医療機関への通院に要する交通費の一部と、心身障がい者(児)及び精神障がい者が社会復帰するための施設への通所交通費を助成します。

《事業概要》

●難病患者の方

- 対象者 難病の患者に対する医療等に関する法律、北海道特定疾患治療研究事業実施要綱、北海道小児慢性特定疾患治療研究事業実施要綱による受給者証の交付を受けている方

- 交付内容 町外の専門医療機関への通院に要するJR運賃の実費相当額(上限 年24回)

●心身障がい者(児)及び精神障がい者の方

- 対象者 心身障がい者(児)及び精神障がい者で、障がい児通所支援施設・指導訓練施設・精神障がい者の社会復帰を目的とした施設などに通所する方

- 交付内容 施設への通所に要するJR運賃の実費相当額
[非課税世帯 全額 その他の世帯 1/2 を助成]
※「障がい児」が施設へ通所する場合は、通所に要するJR運賃の実費相当額を「全額助成」しています。

担当課

保健福祉課 35-2120



10.交通

■新規 沿線自治体連携ＪＲ留萌本線廃線イベント補助金 予算:1,000千円

令和8年3月31日でＪＲ留萌本線が全線廃止となることに伴い、ＪＲ留萌本線沿線自治体深川市、秩父別町、沼田町が連携した中で、1年間を通したイベントやグッズ販売を行い、廃線当日にお別れイベントを実施します。

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■沼田町留萌本線利用者代替交通支援事業 予算:373千円

ＪＲ留萌本線(留萌-石狩沼田間)の一部廃線に伴い、石狩沼田駅・真布駅・恵比島駅間の利用者に対する代替公共交通として、町営バスの新規路線を追加していますが、町営バスの追加だけでは対応できない時間帯が発生することから、これに対応するためタクシー利用に対する助成を行います。

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■空知中央バス等生活路線の維持 予算:3,000千円

公共交通の一翼を担う「空知中央バス」沼田線は、利用者の減少により「赤字運行」となっており、バス路線の沿線自治体において赤字分を補助し交通手段の確保に努めています。

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■空知中央バス沼田線利用助成事業 予算:552千円

使い慣れたＪＲからバスへのスムーズな転換を促すため、ＪＲの廃線前である令和7年度にバスを利用する機会を提供することで、バス転換へ対する不安の軽減を図ります。

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■バスの乗り方教室

ＪＲ留萌本線が令和8年3月末に全線廃止を迎えることを踏まえ、バス路線の利用に対する不安解消を図ることを目的として、高校進学に伴いバスを利用する機会が増える中学生を対象にバスの乗り方教室を実施します。

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■沼田町地域公共交通従事者就業支援助成金 予算:150千円

沼田町の地域公共交通に携わる運転手を呼び込むため、移住者に対する支援金を交付することで地域公共交通の担い手を確保し、持続的な地域公共交通を目指します。

《事業概要》

- ・就職支援金 5万円(1回限り)
- ・住宅準備支援金 10万円(1回限り)
- ・就業支援金 30万円分の沼田町電子商品券(1年経過ごとに5年間)

担当課	産業創出課	35-2155
-----	-------	---------

■町営バスの運行 予算:17,314千円

- ・路線名 幌新線 8便運行 東予線 3便運行
- ・乗車料金 町内1乗車 100円

※土日祝日、学校休校日、1/1～1/3は、一部又は全部を運休します。

担当課	建設課	35-2116
-----	-----	---------

■乗合タクシーの運行 予算:17,699千円

- ・運行区域 町内全域(ほろしん温泉発着を除く)
- ・指定停留所 39カ所及び町営バス停留所(ほろしん温泉を除く)
- ・運行時間 8:00～17:00(9便/日) 18:00～19:00(碧水接続のみ)(1便/日)
- ・利用料金 町民 100円・町外登録者 200円

担当課	建設課	35-2116
-----	-----	---------

■高年齢者交通安全対策助成事業

予算:214千円

全国で高齢者による重大な死傷事故の発生が大きくとりざたされており、高齢者の運転免許を安全機能付き自動車のみにすると法改正も提案される等大きな社会問題となっていることから、免許証の返納を検討する高齢者の経済的負担・移動負担の軽減を図ることにより安心・安全なまちづくりを進めます。

《事業概要》

- ・免許証返納助成 ※Numacaポイントで支給
- ・運転経歴証明書交付手数料助成 1,100円/人
- ・公共交通利用助成 沼田～深川間往復分のJR運賃または路線バスの乗車料金の10往復分相当額

担当課

住民生活課 35-2115

■ぬまたライフサポート事業(移住定住運転技術向上支援事業)

予算:120千円

積雪の少ない地域から移住される方々や住み慣れた方でも冬道運転に不安を抱く方が少なくないため、沼田での生活をより快適・安全に過ごし続けるため、運転講習に係る受講料を助成します。

《事業概要》

- ・助成額 1回の受講につき受講料の半額3,000円を助成(1人につき2回まで)

担当課

住民生活課 35-2115

■交通事故死ゼロ5000日達成事業

予算:113千円

令和8年3月17日に交通事故死ゼロ5000日を迎えることから達成に向けた啓蒙活動と記念懸垂幕の作成をします。

担当課

住民生活課 35-2115

11.環境



■再生可能エネルギー設備等導入支援事業

予算:2,000千円

再生可能エネルギー設備(太陽光発電・太陽熱利用・バイオマス熱利用・雪冷熱利用等)を自己消費として事業の用に供する為に導入する費用の一部を助成します。

《事業概要》

○対象者

- ①本町の住民基本台帳に記載されている者で自ら事業経営(農業者含む)を行っている者
- ②本町に事業所若しくは営業所を有する法人(農業生産法人、農事組合法人含む)
- ③新たに購入する再エネ設備等を設置する者

○対象設備

- ・太陽光発電
- ・太陽熱利用
- ・バイオマス熱利用
- ・雪冷熱利用 等

○補助要件

熱利用や発電に関係なく、再生可能エネルギーを自己消費により事業の用に供することを目的とした導入設備に限る。(売電を目的とする事業は対象外)

○補助率

- ・雪冷熱エネルギー 4/5以内(上限2,000千円)
- ・その他再生可能エネルギー 2/3以内(//)

担当課

産業創出課 35-2155

■太陽光発電設備設置奨励事業

予算:1,000千円

自ら居住する持家、又は自ら居住するために建設する住宅、又は同一敷地内に、町内業者により新たに太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成します。

〈事業概要〉

○助成額:設置費用の1/4以内(限度額50万円)

担当課

住民生活課 35-2115

新規 ■GX専門人材派遣委託料

予算:13,200千円

「地方公共団体のGX」の取組を強化するため、民間事業者から専門的な知見を有する人材を招聘し、ゼロカーボン・再生可能エネルギーの促進を図っていきます。

担当課

住民生活課 35-2115

新規 ■生ごみの減量化事業

予算:300千円

2050年の脱炭素社会の実現を目指すため、家庭から排出される生ごみの減量に取り組むため、乾燥・堆肥化による生ごみの減量化により、焼却施設での燃焼時間の短縮による二酸化炭素排出量の削減と肥料として再利用することで脱炭素の取組みを促進します。

担当課

住民生活課 35-2115

新規 ■宅配ボックス設置助成事業

インターネットでの商品購入の機会が増え、自宅で商品等の受け取りが多くなった一方、在宅予定が不明瞭で再配達も増加傾向にある。宅配ボックス設置により再配達を抑制し、配達車両からの二酸化炭素の削減等に取り組むため、宅配ボックスステーション設置のための設備改修を行う。

担当課

住民生活課 35-2115

■ディスプレイ設置助成

予算:400千円

住環境の向上・生ごみの減量化による経費削減のためディスプレイ普及を継続して実施します。また、月額使用料を平成28年度から従来の「500円」から「250円」に半減し普及促進を図っています。

〈助成内容〉

- ・一般世帯 25千円
- ・子育て世帯 50千円

※子育て世帯とは、中学生以下の子どもを養育する世帯

担当課

建設課 35-2116

12.DX

※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用して業務プロセスや製品、サービス、ビジネスモデル、企業文化などを変革することを意味します。

新規 ■デジタル専門人材派遣業務委託料

予算:5,600千円

行政の業務効率化及び町民サービスの利便性向上を図る「自治体DX」を推進するため、民間事業者からデジタル技術等の専門知識を有する人材の招聘をします。

担当課

総務財政課 35-2111

新規 ■ガバメントクラウド移行経費

予算:300,242千円

自治体運営の効率化を目的に、迅速・柔軟・安全、安心でコスト効率の高いシステムへの移行をします。

担当課

総務財政課 35-2111

新規 ■電子契約システム使用経費

予算:112千円

業務の効率化やペーパーレス推進のため、既存の紙での契約の仕方を見直し電子契約に移行します。

担当課

総務財政課 35-2111

13. 林業

■ 新規 沼田町森林資源活用促進事業

予算:1,000千円

本町の森林資源を活用した木材加工品や特用林産物の商品開発及び製造に必要な取組に対する助成を行うことで、森林資源の循環利用の促進と森林の多面的機能の発揮を図ります。

《事業概要》

○対象者:沼田町内に住所を有する者。沼田町内に事業所を有する法人及び団体。

○補助率:事業費の2/3(上限1,000千円)

担当課

農業推進課 35-2114

■ 北海道里山林活性化による多面的機能発揮対策事業

予算:520千円

里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金を活用して行われる、里山林の保全活動などに対して支援を行います。

《事業概要》

活動組織に対し、国からの交付金の1/6を町が追加支援。

(町支援により活動組織は、さらに北海道から町と同額の補助を受けることができる。)

担当課

農業推進課 35-2114

■ 私有林森林整備振興事業

予算:320千円

下刈や間伐などの森林整備事業に対する助成を行うことにより、計画的な森林施業の推進と森林資源の循環利用を促進し、二酸化炭素の森林吸収量の確保など森林の有する多面的機能の発揮を図ります。

《事業概要》

○対象者:町内に森林経営計画の認定を受けた森林を有する森林所有者。但し、大企業を除く

○対象事業:森林環境保全直接支援事業(公共補助)の採択を受けた事業。但し、人工造林、樹下植栽を除く

○助成内容

・下刈、間伐、森林作業道整備等:公共補助残の1/2

・殺鼠剤散布(地上):公共補助残の全額

担当課

農業推進課 35-2114

■ おめでとう赤ちゃん～ファーストウッド木育事業

予算:324千円

沼田町の将来を担うお子さんの誕生を祝い、乳幼児期から木製品に触れることにより本町の豊かな森や自然に対して親しみや関心、愛着を持っていただくとともに、木製品の利用は健全な森林環境保全によるゼロカーボンの推進にもつながることから、木製玩具と食器を送る木育事業を行います。

《事業概要》

・対象者 沼田町に住所を有する乳児

・贈呈品 ・木製玩具:森の輪(わっこ)

・木製食器:スプーン、ボウル

担当課

農業推進課 35-2114

■町有林管理事業

予算:3,275千円

町有林の作業路開設及び間伐(受光伐)等、森林施業をおこない、施業の二酸化炭素吸収効果を検証するとともに、間伐した木材を加工・販売により付加価値を生み出し、ゼロカーボンを推進します。

担当課

総務財政課 35-2111

14.移住定住

新規 ■移住定住促進住宅改修事業(中間管理住宅)

予算:10,000千円

個人が所有する空き家を町が10年間の賃貸契約で借受け、町が水回りや内装などをキレイにリフォーム改修し、改修後の空き家を町内への移住を希望する子育て世帯等に賃貸することにより景観の向上・移住定住促進・地域の活性化を図ります。

※ 契約期間は最大2年間延長することができる。

担当課

住民生活課 35-2115

■ぬまたライフサポート事業(米どころに生まれてよかった事業)

予算:5,772千円

町内の食べ盛りの小中高生を持つ世帯に沼田産のお米等を提供することで、米どころ沼田町のブランディングを図るとともに、ふるさと沼田町の味を子ども達に記憶していただくことで、郷土愛や帰属意識を醸成し、将来の沼田を担う町づくりリーダーの育成・確保に繋げるとともに、保護者に本町で子育てするメリットを感じていただくことで、子育て満足度向上に繋がります。

《事業概要》

対象者 9/30現在、沼田町に住所を有する小学生から高校生までの年齢の児童・生徒を養育する世帯の世帯主

10/1から3/15の間に転入した、同上要件の世帯の世帯主

提供物 雪中米 提供単位は10kg毎、最大60kgまで

トマトジュース 提供単位は30本入1箱毎、最大6箱まで

トマトケチャップ 提供単位は6本入1箱毎、最大6箱まで

提供方法 提供にあたっては業務委託で行い、町より9/30以降に引換券を配布、事前申込みいただいた後、委託事業者において引換え。

担当課

住民生活課 35-2115

■ちょっと暮らし事業

予算:2,098千円

市街地にある町有住宅を活用して短期の体験移住を受け入れ、町内で仕事をしながら「ぬまた暮らし」をしていただくなど、移住後の生活をリアルに体験してもらうことで移住に繋げてまいります。

担当課

住民生活課 35-2115



■沼田町住んで快適住まいる応援奨励事業 予算:23,900千円

新築、中古住宅取得、中古住宅取得にあわせておこなうリフォームなどに対する支援を行なうとともに、持ち家リフォームへの助成を行なうことで移住定住の促進を図っています。

担当課 住民生活課 35-2115

■セルフリノベーションハウス事業 予算:2,045千円

古くなった町有住宅等を若者たちによるプランニングとDIYにより再生し、移住体験等に活用するとともに、活動風景をWEBで発信し、沼田町での生活のモデルプランを提案していきます。

担当課 住民生活課 35-2115

■孫ターン奨励事業 予算:150千円

自然豊かな地域での暮らしに憧れをもつものの、見知らぬ地域での生活に不安を感じる孫(若い)世代に、祖父母が居住しており地域に溶け込みやすい本町への移住を促すことで、本町に縁のある孫世代移住の流れを作り出し高齢者の見守り充実と移住定住の促進を図ります。

《事業概要》

○対象者 本町に祖父母が居住する孫世代

○対象要件

- ・世帯主又はその配偶者の祖父母のいずれかが本町に居住している方で、町外から転入された世帯
- ・転入から1年以内の世帯であって、転入から5年以上本町に定住する意思を有している方
- ・同一世帯において、交付要件を満たす方が複数いる場合においても一人にのみ助成など

○助成額

- ・世帯:100千円/世帯(同居加算:50千円/世帯)
- ・単身:50千円/人(同居加算:25千円/人)

※本事業は令和8年度までのサンセット事業です。

担当課 住民生活課 35-2115

■結婚新生活応援事業 予算:900千円

結婚に伴う新生活を経済的に応援するため、新婚世帯に対して住居費及び引越費用の一部を助成します。

《事業概要》

- ・対象世帯 令和7年1月1日から令和8年3月31日までの間に婚姻届を提出し、受理された世帯
- ・年齢要件 夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下
- ・所得要件 夫婦の所得の合計が500万円未満
- ・対象経費 婚姻に伴う新規住宅取得または賃貸に要する経費、引越費用、住環境等に係る経費
- ・補助額等 1世帯当たり30万円上限(夫婦ともに29歳以下60万円)

担当課 住民生活課 35-2115

■移住定住ブランディング戦略事業

予算:1,145千円

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、魅力的な地域として移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

《事業概要》

- ・地域作成型WebCM作成
- ・広告掲載委託

担当課

住民生活課 35-2115

■そのほかの移住定住事業

予算:1,756千円

- ヤング世代移住促進家賃助成事業 75,6000円
- 子育て世帯町外通勤者支援事業 ※地域ポイントにて支給
通勤距離により年額 18,000円～72,000円
- 町外通勤者移住支援事業 ※地域ポイントにて支給
中学生以下の子供を養育する世帯10万 その他5万
- Uターン新規就業支援事業 1,000,000円 世帯:100万円/戸 単身:60万/戸

担当課

住民生活課 35-2115

15.防災

新規 ■防災行政無線設備更新事業

予算:94,600千円

平成24年の導入より12年が経過し、設備の老朽化及び保守終息期限が切れることから防災無線に使用する機器の更新を行います。

担当課

総務財政課 35-2111

新規 ■沼田消防第2分団ポンプ車更新事業

予算:39,400千円

平成13年にポンプ車を配備して23年が経過しており、経年劣化により車両の更新をします。

担当課

総務財政課 35-2111

■防災訓練事業

予算:200千円

《想定概要》

- ・大規模災害発生時の避難等初動対応訓練
- ・防災資材等の展示など

担当課

総務財政課 35-2111

16.その他

拡充 ■北空知葬斎場使用料助成事業

予算:600千円

北空知葬斎場の使用料が上がることに伴い、町が助成する費用を拡充します。

	葬斎場使用料	町助成額	利用者負担額
令和6年度まで	15,500円	5,500円	10,000円
令和7年度から	27,000円	10,000円	17,000円

担当課

住民生活課 35-2115

■キャンパスライスプロジェクト2025

予算:6,501千円

物価高に困窮する全国の大学生を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングにより資金を募り、ななつぼし無洗米2kgを無償提供し、大学生の生活支援による社会貢献と沼田町産米のPRを図ります。

＜＜事業概要＞＞

- ・雪中米ななつぼし無洗米2kgを無償配布

担当課

総務財政課 35-2111

新規 ■第7次沼田町総合計画策定支援業務

予算:3,407千円

令和8年度に策定する次期総合計画(R9～R16)に向けたアンケート調査を実施します。

担当課

産業創出課 35-2155

■自治振興協議会『地域提案型まちづくり事業』

予算:1,820千円

町内会や住民組織が主体となって行う地域活動に対し助成を行い、町民・地域・行政が共に協働することで明るく住み良いまちづくりを行います。

＜＜補助額＞＞

- ・1年目 交付対象経費の合計額の10分の9以内(上限20万円)
- ・2年目 交付対象経費の合計額の10分の6以内(上限20万円)
- ・3年目 交付対象経費の合計額の10分の3以内(上限20万円)

担当課

住民生活課 35-2115

町民参加型サポーター募集のご案内

1

子育て支援ボランティアを募集！

町民の皆様がもっている「知識」「経験」「技能」などを、子育て支援の場でぜひ活かしていただきたく、子育て支援ボランティアを募集しておりますので、たくさんの皆様のご応募をお待ちしております！

活動場所：子育て交流広場「えがお」

担当課 保健福祉課 TEL.35-2120

2

ぬまたっ子サポーターを募集！

沼田の子どもたち(ぬまたっ子)が育つ「家庭」・「学校」・「地域社会」が協力体制をつくりながら、安全対策・非行防止のための多様な活動を全面的に展開していくことを目的に、「ぬまたっ子サポーター」の活動を実施しておりますので、皆様のご登録をお待ちしております。

担当課 教育委員会 TEL.35-2132

3

加工用トマトの作付けを募集！

家庭菜園で北のほたる完熟トマトジュースに使用する加工用トマト「なつのしゅん」を作付けいただける町民の方を募集しております！

・苗は用意してお渡しします！ ・1kg 40円（税込）で買取！ ・ハウスや支柱が不要な露地栽培です！

収穫したトマトを畑まで取りに行きます！ ・収穫用コンテナ貸します！

担当課 農業推進課 TEL.35-2114

4

高齢者等活躍応援事業の登録者を募集！

沼田町では、高齢者の方等が持つ知識や経験などを活かして働いていただける場を提供したり、社会参加に関する相談の窓口として、「高齢者等活躍窓口」を暮らしの安心センターに設けています。ご登録いただければ、ご希望の仕事やボランティア活動などについて必要に応じて紹介いたします。

担当課 保健福祉課 TEL.35-2120

5

還元型コエンザイムQ10試飲モニターを募集！

還元型コエンザイムQ10のサプリメントを毎日1粒飲んでいただき、年に2回の健康測定会に参加していただける方を募集しております！

担当課 産業創出課 TEL.35-2155

まちづくりハンドブックに関するお問合せ

TEL.0164-35-2155(沼田町役場産業創出課) / FAX.0164-35-2393

発行日：令和7年3月発行